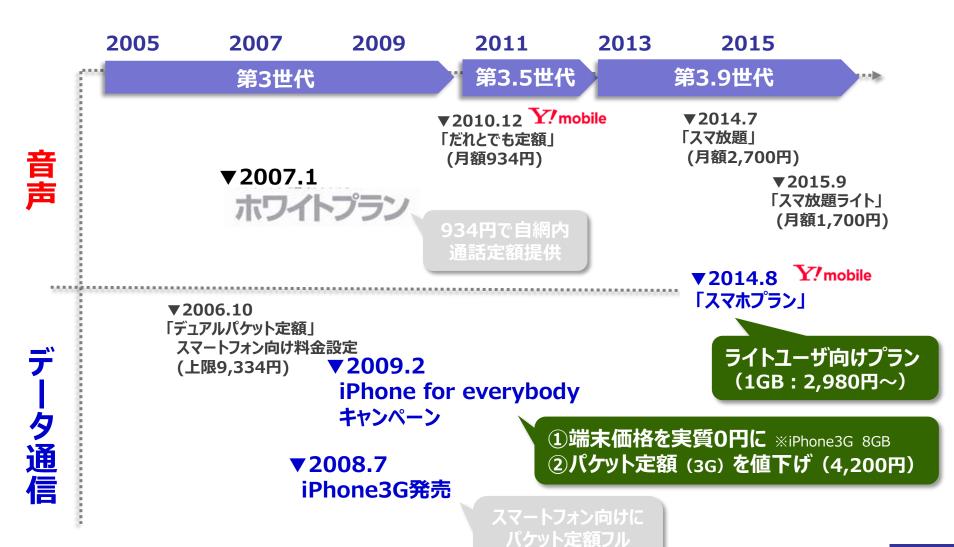
『携帯電話の料金その他の提供条件に関するタスクフォース』 説明資料

2015年10月26日 ソフトバンク株式会社

I スマートフォン導入前後からの料金プランの変遷

利用者ニーズに沿ったプラン・割引を提供

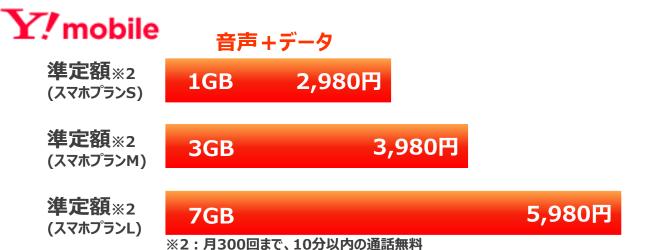


(5,700円)を提供

Ⅱ-1 当社のスマートフォン向けの主要料金プラン①

音声は従量・準定額・定額プラン、データは1GBプランから 多様なラインナップを提供

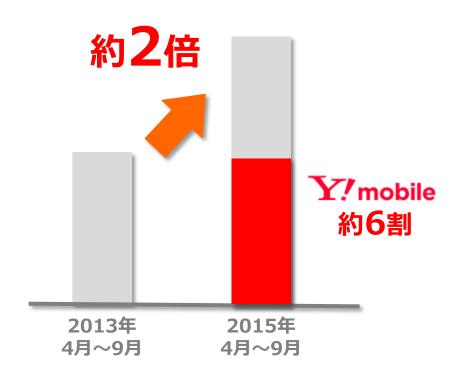




Ⅱ-1 当社のスマートフォン向けの主要料金プラン②

ライトユーザを中心に、ワイモバイルブランド人気も高まっている

【当社Android新規契約数】





【ユーザサポート】



全国で 約1,000店舗

大手3ブランド同様のサポート体制

Ⅱ-2 ユーザの利用形態(トラヒック傾向等)と料金プラン

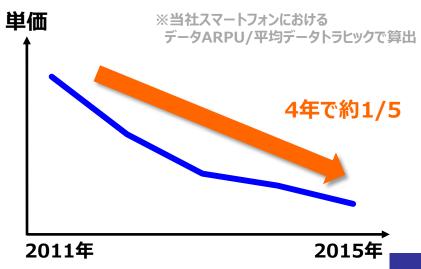
ユーザの利用形態の変化に伴い、トラヒック傾向も変化 ニーズの変化にあった料金プランが必要



【トラヒックの変化(イメージ)】

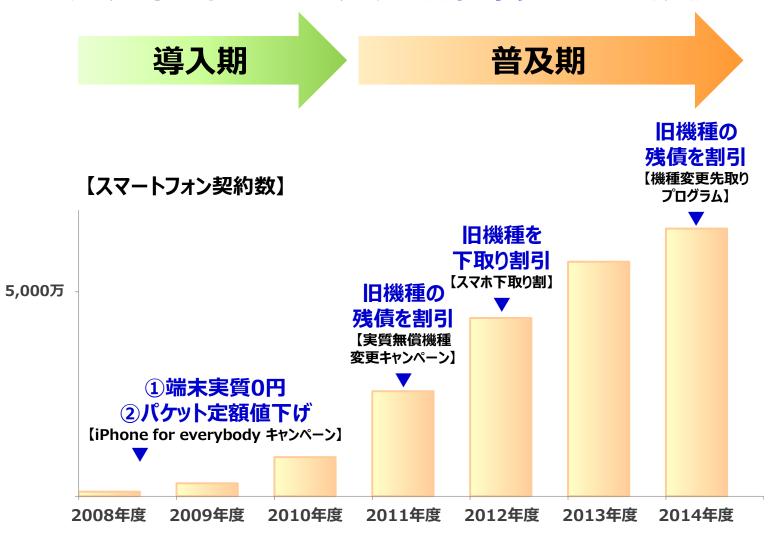
ユーザ数 ※月間平均トラヒック(スマートフォン) 約1.5倍/年で増加 平均 約2GB/月 (2年前) データ量

【1GBあたり単価の変化(イメージ)】



Ⅱ-3 スマートフォン普及のための料金等の取り組み①

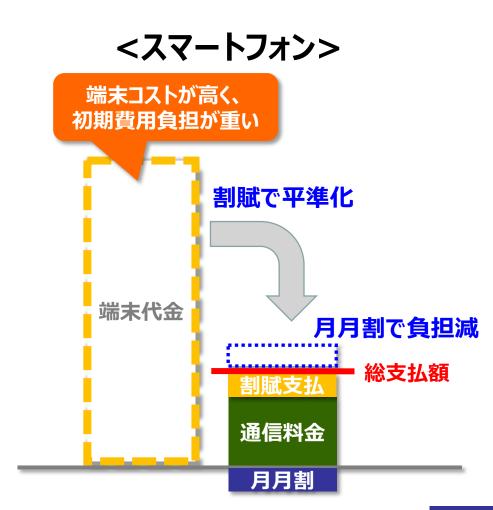
スマートフォン普及のための各種キャンペーンを実施



Ⅱ-3 スマートフォン普及のための料金等の取り組み②

フィーチャーフォンと比べ、端末代金が上昇するため お客さまの負担を軽減する仕組みを拡大

<フィーチャーフォン> 端末コストが低く、 初期費用負担が軽い 端末代金 通信料金



Ⅱ-3 スマートフォン普及のための料金等の取り組み③

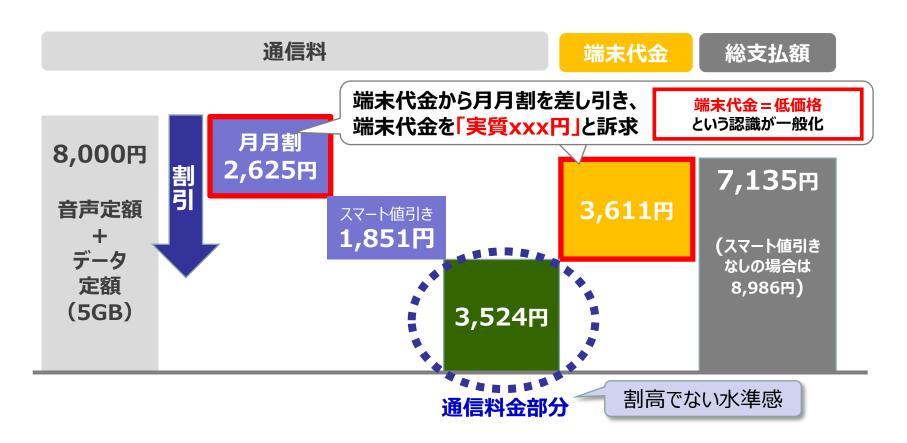
主力のスマートフォンが2年ごとにバージョンアップ

端末機種変更により、最新のネットワーク機能が利用可能に



Ⅲ-1 スマートフォン料金の現状と課題①

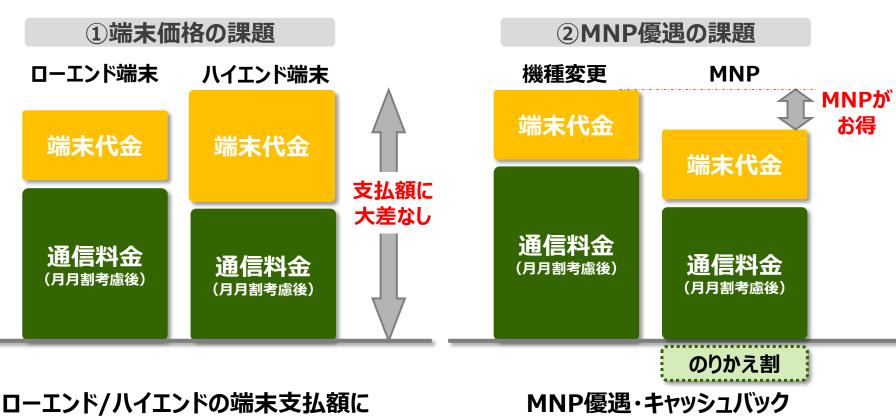
スマートフォン普及のため、実質的な端末代金負担を軽減他方、通信料金が「わかりにくい」「高い」との指摘も・・・



【iPhone6s 16G、音声定額+データ定額(5GB)/機種変更 (MNP・新規ではない場合) の場合】 ※2015年10月15日現在 ※iPhoneの下取りがある場合はさらに割引 (金額は税抜)

Ⅲ-2 スマートフォン料金の現状と課題②

スマートフォン普及のための料金・CPが ハイエンド端末優遇や不公平感につながっているとの指摘も・・・



差が少なく、ハイエンド端末が人気に

により利用者間で不公平感

一方で販売モデルの変更は副作用も

IV-1 当社のMVNOへの取組み

卸型/接続型メニューを用意し、MVNOの多様なニーズに対応

卸型メニュー (M2M、再販)

接続型メニュー



IV-2 接続型MVNOの取組み

接続型MVNOは設備投資、技術者等のMVNO負担が重いため

SBパートナーズを設立し、多様なMVNOのニーズに対応 (本年7月事業開始)

